

# 平成19年度 有害紫外線モニタリングネットワーク関係者会議 議事録

## 議事次第

日時： 平成19年12月6日（木） 13時30分～17時00分

場所： （独）国立環境研究所 東京事務所  
東京都千代田区霞が関1-4-2 大同霞が関ビル7階

## 議題：

1. データ収集及び検証作業状況報告
2. データ校正状況報告
3. 機器の校正とデータの補正  
3.1 紫外放射計の校正作業について（英弘精機株式会社）
4. オンライン化の現状とホームページ利用状況の報告
5. 本年度データ提供・問い合わせの報告
6. 各測定局の近況報告等
7. その他

議事録：（議題1、2、4、5は資料に沿った報告。）

-----議題3補足：UV計の校正について-----

現在、英弘精機と事務局で校正を行った状況を検討し（正確には修理前機器常数と感度常数を決定した時のデータを検討し）、感度常数の季節変動に関する影響を評価・検討している。これまでの暫定的評価により、UV-B計の純粋な測器感度トレンドがそれほど変化していない事例が確認されたため、一律に（UV-B計の）年1回の校正に拘る必要はなくなってきた。むしろ校正する時期とデータ取得の諸条件の管理を徹底する方向で英弘精機と合意をみている。

今後、UV-B計の校正頻度が2年に1回で良いと分かれば、ローテーション測器の割り振りを調整し、年数回に分けて校正時期を合わせてゆくことが可能。

早急に調査を進め報告する。また、校正に掛かる費用はUVネットワーク特別価格として、オーバーホール・再校正を含め4万2千円となる。

-----議題4補足：UVホームページへのアクセス件数について-----

今年の夏のアクセス件数は多かったが、概ねまだまだ認知度が低い。特にモバイルのHPはアクセス頻度が低いのが問題。

また、『紫外線』という検索キーワードでヒット率が低いという問題がある。今後は、

相互に HP をリンクするなどして、メンバー全員で知名度を上げてゆく。

-----議題 6：各測定局の近況報告-----

札幌局：積雪等、寒冷地特有の現象の為にデータが不安定になることがある。

青森局：データロガーMV100 を修理中。積雪の影響を受け易い。

青い森アップル環境ネットワークとの連携で幅広い活動をしている。

仙台局：測定場所（圃場）が離れていて LAN の環境もない為、電話回線で定期的にデータを吸い上げている。昨年はこのシステムがウイルスに感染し使用できなくなる事態があった。また、今年 8 月頃に落雷の影響でシステム障害が発生した。その影響で 8 月～ 11 月が欠測となった。

ローテーション観測に参加しているが、実際に測器を出すのが遅れている。

校正時期を揃える必要もあるが、今回は冬季の校正を行う。

京都局：今年、雷の被害にあった。データロガーのインターフェイスが壊れた。

このインターフェイスが直ってから本当の被害の全貌が分かるので、今後の調査待ちという状況。

奈良局：今年度の校正は春の予定。また、自動転送に成功し UV インデックスの速報の公開が始まった。その他の活動ですが、今年の 11 月 10 日に『紫外線の影響と防御に関する国際シンポジウム』を開催した。

横浜局：UV 計設置校舎が耐震工事に入り、一時的に場所を移動している。その影響で自動転送が出来なくなっている。また、今年 4 月から平塚の農場に UV-A、UV-B、全天日射計を置いて測定を開始している（データは、手動で取りに行っている）。

平塚と本部（横浜市保土ヶ谷区）を比較すると、かなり様子が違うことが分かった。

今後は、平塚もネットワークのステーションにしたい。また、外部からの問い合わせ（コンクリートの劣化に係る調査）に対しデータを提供した。

名古屋局：来年 3 月までに、名古屋大学のある名古屋市の方に移設する予定。データの自動送信は順調。

知多局：自動転送の方は、セキュリティに問題が無いようであれば（ネットワーク係りの担当者と）協議してゆきたい。また、機器更新の時期でもあるので、予算の調整をする予定。

滋賀局：今年、計測器を琵琶湖の湖心に移設した。移設当初、鳥の影響があったが、鳥対策を講じてからは解消された。メンテナンスは月 1 回で行っているが、機器の汚れ等も少なく問題は起きていない。データは電話回線でセンターまで転送し、そこからは手動で UV ネットに送っている。電話回線が不安定なのが問題。

鳥取県局：測定器は少し離れた保健所の屋上にあり、電話回線でデータを取り込んでいる。

研究所の方は新しい建物ですが、そこだけ LAN がきていない状況。現在、LAN が敷設（もしくはルーターを通して通信）できるか検討中。

岡山県：今年からローテーション観測に参加。また、今年の夏、測器下の芝が枯れてしまっ

た為、手作業で張替えを行った。活動としては、今年の7月25日に『夏休みの自由研究教室』を開催し、好評を博した。UVインデックスなどHPの情報がよかった。

佐賀局：機器更新の時期にきている。予算等調整してゆきたい。

宮崎局：宮崎ハマユウ会では今年の世界環境月間に講演会(佐々木先生)、紫外線ジャンボカルタ、自転車発電等を行った。また、パンフレット『暮らしてみたい世界 ー守ろうオゾン層 防ごう地球温暖化ー』、『健康であるために ー守ろうオゾン層 防ごう地球温暖化ー』を作成し配布した。昨年UVインデックスを公開してから反響が大きく、今年もテレビの取材があった。しかし、このインデックスが子供たちの健康にどう影響するのかという疑問も残る。

宮崎県局：宮崎県衛生環境研究所では、県内3箇所(延岡、宮崎、都城)の花粉と紫外線速報をHPで公開している。宮崎ハマユウ会とも連携してゆきたい。UV計の校正時期、代替器の有無、校正費用も気になる。

名護局：今年度で測定を終了する予定。今年は台風の直撃があったけれども測定は正常に行われた。過酷な環境でも耐え得ることは分かったが、感度の劣化が進んでいることが気になる。

以上。